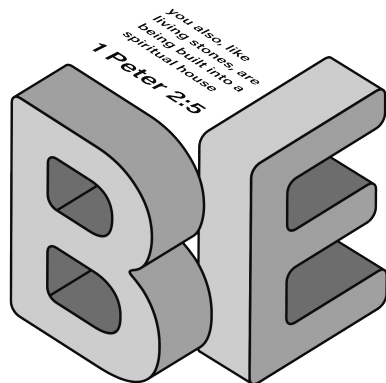


# YOUTH MANNA



あなたがた自身も生ける石として霊の家に築き上げられ、神に喜ばれる霊のいけにえをイエス・キリストを通して献げる、聖なる祭司となります。

(ペテロの手紙第一 2章42節)

2026/2/2(月)

## 民数記 13:25-33

12人の偵察者が約束の地に行き帰ってきた時2つの反応がありました。1つは土地は豊かだがその地に住む人が強大であり城壁も堅固で土地を勝ち取るのは難しいというもの、もう1つは神様の約束の土地だから必ず打ち勝てるというものでした。神様の約束を信じるのか、自分の感じた不安を信じるのかで選びと結果は大きく変わります。

自分の勝手な思い込みで無理だと諦めてあることはないかな？

神様がどんな方かを思い出してもう一度そのことを神様に祈ってみよう！！

2026/2/3(火)

## 民数記 14:1-25

●会衆が言う不平の内容はどのようなものだろうか。それに対してヨシュアとカレブが会衆に語った内容は？

●神様が民を滅ぼそうとされたとき、モーセが間に立ってとりなした。民には赦される理由は何もないけれど、神様の栄光にかけ、愛と憐れみを求めて赦しを願ったんだ。モーセのとりなしの祈りから、祈りについて何を学べるだろう？

●君は何によって人生の選択をしていきたいだろうか。恐れや心配から選ぶか、それとも神様がなしてくださることを信じて選ぶか。

2026/2/4(水)

## 民数記 14:26-45

●イスラエルの民は、神様のことばと約束を信じず不平不満を言ったので、その背信の責めを負うことになった。彼らの背信の結果はどのようなものだっただろうか。偵察に行った12人の人たちはどうなっただろうか。

●神様のさばきの宣告があった翌朝、主が言われた場所に行ってみようと言う人たちが現れた。モーセの忠告にもかまうことなく行動した彼らは、どのような点で罪深いと言えるだろうか。

神様に聞き従うことは、自己中心な思いとは反対のものなんだ。神様の前にいつも聞き従う心を持って歩もう！

2026/2/5(木)

## 民数記 15:1-21

●この章の決まりはイスラエルの子らがどこにいったときの決まりかな？2節

この箇所はイスラエルの人たちが40年荒野で過ごすちょっと前に語られたことだよ。ささげ物の内容から約束の地がとても豊かなことがわかるよね。このことはイスラエルの民の希望にもなったんだ。イスラエルの人たちはただ辛いだけの40年じゃなかったんだね。私たちは普段の生活で困難なこともあるけど、そんな時に思い出す神様の言葉あるかな？その箇所を読んで今日も出ていこう！なかったら与えられるように祈ろう！

2026/2/6(金)

## 民数記 15:22-41

37-41vを読もう。

●神様は衣服を作る時に、何を作るように語っているかな？それは何のためだと書いてある？38-39v

●「淫らなことをする自分の心と目の欲」に従うと、人はどうなっちゃうのだろう？39v

●神様は性を良いものとして定めたのに、人が欲に従った結果、淫らな隠し事になってしまった。きみは性についてどう理解しているかな？神様が望まれる男女の付き合い方ってどんなだと思う？

2026/2/7(土)

## 民数記 16:1-19

今日の箇所では周りを羨んでしまう人の弱さが分かる箇所かもしれない。みんなは誰かをうらやましいって思ったことはあるかな？

コラたちはモーセやアロンに向かって「人の上に立っている」ことを責め立てた。それは彼らがモーセたちのことを民を指導する者としてしか見ていなかったから。それ以前にモーセたちは神様に仕える者だったけど、コラたちの中に神様の存在は見えていなかった。

モーセははっきりとそれぞれの役割に神様が選んでいるということを伝えなければ、コラたちには分からず、周りの人たちを味方につけようとしていたね。自分の在り方、周りの人の存在を見る時に神様からの見方を受け取っていこう！

2026/2/8(日)

## 民数記 16:20-50

身近な人のために祈ることはそのまま難しいことではないですが、自分を傷つける相手のために祈ることは簡単ではありません。反逆したコラー派と会衆に神様の厳しいさばきが下されますが、モーセとアロンは民のためにとりなしを続けました。その結果、神様の怒りを引き留めることができました。彼らの指導力は支配ではなく、愛ととりなしでした。

イエス様も敵のために祈り、十字架上で赦しを願われました。私たちも主を手本として、「難しい」と感じている人のために祈りましょう。